

鉄鋼関連・流通加工

根津鋼材の新「青梅事業所」

工場リニューアル、着々と

根津鋼材(本社・東京都荒川区、社長・根津訓光氏)は青梅事業所のリニューアル工事を急ピッチで進めて

システム、垂直移行

市(井)は、今年3月末まで豊田通商グループの関東コイルセンター(KCC)として運営して

「変わることを肌で体感してほしかった」という根津社長の強い思いがそよぎ

その余裕を持たせず即実践を命題とした分、事務所ス

工が主体。工場では大型スリッターの導入にコイル

元在庫管理システムを使用し、青梅にも同システムの導入した。在庫

根津システムをうまく活用したことでスムーズな立ち上がりを実現し、その後も

これまで長きにわたり商社系CCとして自動車向け受託・賃加工で実績とノウハウを重ねてきた旧KCC

事業を独立系の根津鋼材が



旧KCC時代からの強みである大型自動ラック倉庫

へへの切り替えを想定した移行期間が理想。

環境改善、負荷軽減

併せて天井取り付け式ダクト装置を自動化する。これ

現場改善・設備改修はほぼ完了。現場改善・設備改修はほぼ完了。

現場改善・設備改修はほぼ完了。現場改善・設備改修はほぼ完了。

現場改善・設備改修はほぼ完了。現場改善・設備改修はほぼ完了。

現場改善・設備改修はほぼ完了。現場改善・設備改修はほぼ完了。

旧KCCに「根津流」注入 基盤強化へ自動化促進

現場、事務所ともにスタッフは従来業務と新体制への移行作業を並行していただけに苦勞も多かった。そして「旧KCCの社員が

建設から30年が経過する0.8m径にも対応できる仕様

ペーパーレス化も進めており、事務所から現場への加工指令も、従来の紙媒体

をやってデータ化した。大型自動ラック倉庫の出入庫

作業も、人手を介さない仕組みに変えた。

現場改善・設備改修はほぼ完了。現場改善・設備改修はほぼ完了。

現場改善・設備改修はほぼ完了。現場改善・設備改修はほぼ完了。



各ラインに整備されたモニター画面は自動化・ペーパーレス化を促進する「根津らしさ」の象徴

近傍に圏央道青梅ICが位置し、京浜地区や北関東など多方面に配送しやすい好立地も、青梅の武器である。